

自然学習講座

テーマ：水元の歴史さんぽ

日時：令和7年11月29日(土) 午後1時から3時まで(雨天決行)

講師：橋本直子氏 (専修大学兼任講師)

参加費：無料 定員：30人(15歳以上)

受付開始：令和7年10月22日(水)

集合：水元かわせみの里 水辺のふれあいルーム

受付：令和7年11月5日(水)まで電話で受付し、応募者より抽選。



水元小合溜の成り立ちや災害の歴史など、地域のルーツを紹介します。

※ 野外での観察もありますので、動きやすく、汚れてもよい長袖長ズボンでお越しください。
※ 歩きやすい運動靴などでお越しください。

イベント・ガイドウォーク

カワセミ一斉調査 令和7年11月30日(日) 説明会 10:00~12:00
令和7年12月7日(日) 調査日 9:30 ~13:00

水元公園全域の各所でカワセ미를定点観察し、非繁殖期のカワセミの個体数を調査します。市民参加型の調査です。



ガイドウォーク 1回目 11時から30分間
2回目 13時30分から30分間

専門員が水元かわせみの里周辺を解説しながらご案内します。ボランティア活動日はボランティアさんが野草園を案内します。



水元かわせみの里とは (水元小合溜水質浄化センター)

水元小合溜の水辺環境を、豊かな生きものが生息していた昭和30年代前半の頃のように戻すために作られた、水質を浄化する施設です。施設内にある水辺のふれあいルームでは、専門員による解説や講座、様々な展示やイベントなどを通じて、周辺の自然や歴史、水質浄化の取り組みなどについて楽しく学ぶことができます。



■ 開館時間・・・9時から17時30分(4月から10月)、9時から16時30分(11月から3月)

■ 休館日・・・月曜(祝日の場合は、その直後の平日)

■ お問い合わせ・・・水元かわせみの里 03(3627)5201 東京都葛飾区水元公園8番3号

■ 交通 京成バス	水元公園循環バス(3月から11月の土日祝のみ) 金町駅南口→水元公園→金町駅南口 水元かわせみの里下車 徒歩1分	金町駅南口←→戸ヶ崎操車場・八潮駅南口 (金61系統) 水元五丁目 または 大場川下車 徒歩5分
-----------	--	--

※ お車でお越しの際は、水元公園有料駐車場をご利用ください。



葛飾区公式HP



ブログ



Facebook



X (旧Twitter)

水元かわせみの里

水辺のふれあいルーム通信



令和7年 10月20日
(通算第223号)

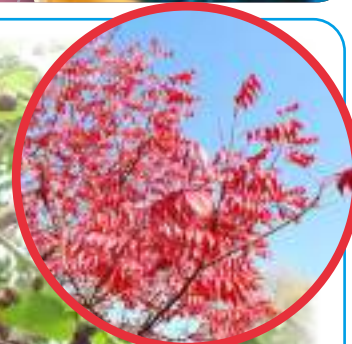
水元小合溜の生きもの：213

ハゼノキ

ウルシ科 ウルシ属

樹高 3~10m

果期 9~10月



▲葉は美しいほどに赤く紅葉する。

和蝋燭の原料／野鳥たちの食料

コーヒー豆にも似た果実をいっぱいにつぶし、この秋に淡褐色に熟します。果実は脂肪分が豊富で、木蠟として和蝋燭の原料に使われるほか、野鳥たちには秋～冬の高カロリーな食料源として人気です。



▲果実を食べに来たヒヨドリ(左)とハシボソガラス(右)

樹液にはご注意を

えだは 枝葉をちぎった際に出てくる樹液にはウルシオールという成分が含まれ、皮膚に触れるとかぶれることがあります。

発見!お散歩隊がゆく

日々変わりゆく小合溜の自然を、お散歩隊が見つけて紹介します!



9/1 ハシヒロガモ カモの一種で、くちばしが平たく幅広い。水元公園には冬鳥として飛来し、小合溜を泳いでいる。



10/8 コノシメトンボ 翅の先端が黒くなるのが特徴的。園路脇に張られたロープにとまり、翅を休めていた。



10/8 アワダチソウグンバイ セイタカアワダチソウの葉でよく見られるグンバイムシ。体長は3mm程度と小さい。



10/8 エノキ 夏~秋に小さな赤い果実を実らせる。果実は比較的甘く、野鳥などの動物たちに好んで食べられる。



10/8 キゴシハナアブ セイタカアワダチソウの花に、他のアブの仲間と共に花粉を求めて訪れていた。



10/8 マテバシイの実 どんぐりを実らせる常緑樹の一種。新しいものは表面に薄くろう物質が張り、光沢が鈍い。



10/8 チカラシバ ブラシのような穂を揺らす多年草。力強く根を張るため『力芝(ちからしば)』の名が付いた。



10/8 スイレン 水元小合溜で最も広く見られる水草の一種。水面に葉を浮かせその上に午前中のみ花を咲かせる。



10/15 マツモ 金魚の水槽によく用いられることから『金魚藻』とも呼ばれる。今年は水元小合溜にかなり多く広がった。

● 写真を撮った場所を地図上に示してありますが、他の場所でも見られます。皆さんもぜひ見つけてみましょう。

専門員コラム 「水面を埋め尽くす水草と遷移」のお話

水元公園に揺蕩う水元小合溜はかつて水草の宝庫と呼ばれ、現在でも様々な水草が繁茂します。一見、多様な水草が様々な動物を育む素敵な環境に見えますが、実は様々な問題も抱えています。

水元小合溜を最も広く優占するのはスイレン(8)です。可憐な花を咲かせるスイレンは人気のある水草です。そして、その美しさゆえに品種改良も盛んで、水元に繁茂するスイレンもそうした園芸用のスイレンだと思われます。園芸用スイレンは重点対策外来種に指定されており、一度蔓延ると除去の非常に難しい水草となります。

水元かわせみの里の目の前の水辺にはマツモ(9)が広がっています。マツモは在来の水草ですが、攪乱(川の氾濫などによる環境の移り変わり)の起こりづらい安定的な環境で非常に増えやすく、1年とかならず水辺の約半分を埋め尽くしました。マツモはさまざまな動物の産卵場になりますが、1種類の植物が水辺を優占するのは、水辺の多様性を失わせるため、場合によっては取り除く必要があります。

水草は水辺環境を豊かにします。しかし、環境が安定的すぎることで水草が増えすぎると、開けた水面を好むトンボが産卵できなくなったり、逆に生きものが減ってしまうこともあります。攪乱の起こらない場所では、人によるかく乱が必要な時もあります。(野間)



ボランティア活動報告

水辺のふれあいルーム前の田んぼ創出作業&ハーブ園の整備

先月に引き続き、施設前の生垣のドウダンツツジを掘り起こし、土の中から石や根を取り除きました。また、ハーブ園では徒長したハーブを剪定し、全体が元気良く育つことのできるよう調整しました。地道な作業の積み重ねが、水元かわせみの里内の環境を形作っていきます。



石や根を細かく探し、丁寧に除去しました。



生えていたドウダンツツジやヤブガラシの根も見逃しません。



固まった土はふるいにかけて細かくし、中に混っていた石を取り除きました。



ハーブ園で徒長していた枝は剪定し、道や隣のハーブに被さらないようにしました。

ボランティア募集

水元かわせみの里ボランティアは、活動を通して、ボランティアの方々が地域への愛着を育み、ひいては地域の発展へ貢献することを目標とします。地域の自然保護活動や、来館者へのクラフト教室など、やりがいをもって参加いただける活動がたくさんありますので、気軽にご参加いただきたいと思います。

■活動内容 水元かわせみの里周辺の美化活動や、水辺のふれあいルームの管理等補助作業
ガイドウォーク等の補助作業、ボランティア研修会の受講
葛飾区子どもまつり、環境・緑化フェアなどへの参加

■募集期間 随時募集しています

■対象 18歳以上の方(原則)

■活動日 月4回程度(定例活動日 第1、3土曜日、第2、4木曜日)

■申し込み・お問い合わせ 水元かわせみの里 03(3627)5201

学校等団体利用のご案内

水元かわせみの里には、水元小合溜の歴史や自然の解説を行う専門員がいます。総合的な学習の時間、理科、社会科、生活科などの学習にぜひご利用ください。

総合的な学習の時間



植物の葉っぱと種の観察

水元小合溜周辺の身近な生きものや、環境、歴史について楽しく学びます。水質浄化センターの見学なども可能です。

職場体験受け入れ



中学生職場体験

施設周辺の美化活動、施設内の管理作業、生物の調査、ガイドウォークの補助など、様々な体験が可能です。

自由研究の補助



虫とのキットを作る

水辺の生きもの調査、図鑑作りなど、様々な内容の自由研究のイベントを行い、夏休みの児童への、学習のサポートをします。

その他、主な団体利用の内容

- ・生物関係のクラブ活動の補助
- ・大学、専門学校の実習の受け入れ
- ・福祉系団体への自然解説
- ・歩こう会など、各種団体への自然解説

※バスでの来館のご希望や、ガイドの時間・内容などの詳細については、ご相談ください。

※団体利用に関するお問い合わせは、水元かわせみの里窓口、または電話(水元かわせみの里 03-3627-5201)まで。

野草園だより 見頃の生きもの 10月編

水元かわせみの里の裏手にある小さなビオトープ「野草園」。様々な生きものが暮らすこのビオトープで見られる、ステキな生きものをご紹介します。

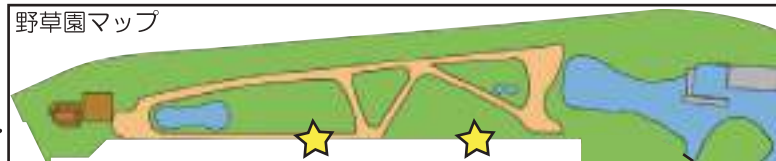
10月の見頃

ノブドウ

10月から11月に果実を实らせるツル性植物で、野草園の柵に巻きついていきます。果実は成熟するにつれ、ものによって緑・薄緑・ピンク・赤紫・青・黒と様々で、色とりどりの美しい果実が見られます。野鳥の食べものにもなりますが、味が薄いためか採食に訪れる様子はあまり見られていません。



野草園マップ



見られるポイントはココ!